

とき：令和4年4月14日(木)14:00～

ところ：市政記者室

■ 防災情報システム再構築について

＜担当：危機管理室危機管理課 電話：06-6208-9793＞

【フリップあり】

- ◆ 大阪府北部地震や平成30年台風21号において、災害情報の収集や職員間での共有、指示伝達等の課題が明らかになった。これらの課題に対し、包括的かつ抜本的に対処するため、災害情報の収集・分析・共有・伝達能力を強化した防災情報システムを再構築した。
- ◆ まず、情報収集力強化策として、ライフライン事業者等からの情報収集に加えて、政令指定都市で初めて、国立研究開発法人防災科学技術研究所が開発した国のシステム「SIP4D」を活用し、震度分布図、浸水エリア図、ライフライン供給エリア図、道路通行状況、交通機関運行状況等をリアルタイムで収集する。
- ◆ あわせて、参集途中の職員や地域の自主防災組織等が災害画像を投稿できるようにし、被害状況の情報収集力を高める。
- ◆ また、分析力強化策として、収集した情報から、災害地域の広がりや災害地点の集中度をシステムの地図上で視覚的に表し、複数のライフライン情報（道路、電気、ガス、水道等）や避難所情報を重ね合わせて分析するとともに、多数の災害情報の中から、災害種別や深刻度、対応着手状況等をもとに、必要な情報を選別・抽出し災害対策の指揮に活用する。
- ◆ 共有力強化策としては、集約した災害情報を、市災害対策本部だけでなく、区災害対策本部、各部災害対策本部、避難所等、所属とリアルタイムで共有する。
- ◆ 伝達力強化策では、全職員に専用のスマホアプリの導入を促進し、指示事項を一斉配信して既読者を集計することで、確実に指示伝達状況を把握するとともに、部署毎にグループを構成し、部署内や区役所・地域間の情報共有できる機能を提供する。
- ◆ さらに、災害対策本部、危機管理部、情報管理室に合計26台設置した災害情報モニタに、集約した災害情報をリアルタイムで地図上や表に整理して最大104画面で表示することで、情報伝達のタイムラグを防ぐ。
- ◆ 令和4年度中には、発信力強化策として、集約した災害情報について災害対策本部で整理したうえで、市民に公開する。
- ◆ 本システムについて、スマートフォンアプリによる職員への指示伝達や国等から収集する情報の災害情報モニタへの表示などのデモンストレーションを令和4年4月14日（木曜日）15時30分から大阪市災害対策本部（特別会議室）で実施する。
- ◆ 本システムを有効に活用し、災害発生時には迅速・確実に災害の情報を把握し、判断・指揮していく。